

STEP1・・・予算生活の使い方

家計管理の基本をおさえよう！

- A. この家計簿の特徴は最初に家計の予算を決めてしまうことにあります。
 まず、源泉徴収票から手取額を算出します。その手取額に対して貯金・保険・住居・生活・その他の生活・教育の6項目に分けます。「家計のバランス」の割合を目安に我が家に合った予算の割合を記入していきます。ここまでの作業が決まればほぼ完成...!!
 つまり、入ってくるお金に対して項目ごとに予算配分をすることに意味があるからです。
 これは国の予算編成といっしょですね！公共事業費を削るとか、育児支援に予算を増やすとか...
 できれば、家庭の大蔵大臣(妻)と総理大臣(夫)、環境大臣(子ども)...家庭内の職務を任命するとおもしろい・・・!

決まった予算を「月の家計」A年間の予算に書き入れます。
 ほとんどのご家庭で給料は口座振り込み、生活の光熱費や生活の通信費も口座引き落としの場合が多いので、その月内の支払は内訳にもれなく記入。カード・クレジットでの支払も項目ごとに(カ・ク)と記入しておくとうわり易い。
 今月使ったお金は、1日から31日まで金額を記入していきます。領収書は別なノートを一冊、用意して領収書を貼り付けて保存します。
 1か月が終われば、B月計に集計して記入します。最初に決めたA年間予算からB月計をマイナスしたお金を記入、それが次月のA年間予算に。これを12ヶ月繰り返します。そうすると、使いすぎた月の分を翌月は抑えるなどして調整します。
 年間の赤字がはっきりしますので、翌年の反省につなげ、あせらず少しずつ予算で管理する家計へと体質改善していきましょう。

月の家計						内訳		
	項目	A年間予算	月予算	B月計	A-B次月	生活	電気	
予算	貯蓄		年間予算÷12		年間予算-月計		電気	
	保険						ガス	
	住居						水道	

今月使ったお金				その日使った金額を記入				
	生活		医療	生活			その他	合計
	食費	生活雑貨		衣料	交際	こずかい		
1日								

可処分所得

手取額の計算は？

- A. 税込み収入に対して「手取り収入」のことを「可処分所得」といいます。
 サラリーマンも自営業者の家庭も税金(所得税・住民税)、そして社会保険料(健康保険・厚生年金)を国に納め、ある一定の法則のもと生活しています。
 税金や社会保険料も含めた年収が「税込み年収」で、それを差し引いた後の金額が「可処分所得」(手取り収入=使えるお金)です。ですから、可処分所得を求めるのは重要なことなのです。

- A. 年末頃に会社からもらう「源泉徴収票」をチェック。

平成 年分 給与所得の源泉徴収票			
住所		氏名	
	支払金額		源泉徴収税
	()		()
		社会保険料	
		()	

* 支払金額から(源泉徴収税+社会保険料)を引いた額が手取り年収。つまり可処分所得です。

* 源泉徴収票からは税金の計算の元になるさまざまな控除があります。
 給与所得控除
 基礎控除や配偶者控除、扶養控除
 生命・損害保険料、個人年金の控除
 住宅ローン控除、定率減税

STEP2・・・ 家計のバランス

具体的なお金の配分・仕訳！

- A 貯金も含めて大きく6項目に分けます。口座から引き落とされている分は固定費として記入。項目ごとに数字だけの管理なので...とっても簡単！！
 今まで家計簿をつけていた人は、右の欄に前年度の集計を書き入れてみましょう。
 生活は4つのカテゴリーに分けて管理します。
 特別な出費は「その他」に。すべて年間で管理するのがコツ！

〔例〕 手取り年収300万円

項目	内容	割合	(年)予算	摘要	現在の状況
貯蓄	積立	10%	30万円	学資保険	
保険		4%	12万円	死亡・医療保険	
生活	生活	7%	20万円	電気・ガス・水道・燃料	
	生活	5%	16万円	電話・新聞・通信	
	生活	20%	60万円	食費・外食・嗜好品	
	生活	18%	54万円	細かな生活用品	
活	医療費	}		薬局・病院	
	衣料費			被服	
	交際			お付き合い費	
	こずかい その他		夫・妻(理美容・交際) レジャー・上記以外		
その他	車 大型家財 その他	10%	30万円	ガソリン・経費	
住居	ローン・家賃 管理費	23%	70万円	ローン(元本/利息) 管理/積立金	
教育	学費 塾・習い事 趣味・教養	3%	8万円	学校費 夫・妻の教養費	

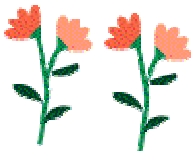
$$\boxed{\text{項目の合計}} \div \boxed{\text{可処分所得の額}} \times 100 = \boxed{\text{割合}} \%$$

バランスの悪い部分は、対策を考え改善していきましょう。

家計の対策

家計対策のポイント

- 住居費としての家賃は本来は年収の20%くらいが理想です。家賃が大きいと余裕のない家計になってしまうので多くても25%内に。
- 貯蓄は、どんな状況でも10%は必ず貯める習慣をつけましょう。不意の時にお金がないと借金をしなければならなくなり、その後の生活も予算通りにいなくなってしまう。
- 保険は、あくまでも備えの部分...5%以下に抑えましょう。万が一の時の公的保障を柱に扶養家族1名につき1千万円を目安に。保険での入院日額はサラリーマンで5千円が基本です。
- 光熱は、使わないときは電源を切るなど節約しましょう。1枚多く着ることで暖房費も違ってきます。
- 通信は、携帯電話の普及で大きな支出となっています。使用料の枠や一定のルールを決めると効果があります。
- 食費は、工夫することで小さくできることです。外食も回数を制限すると、意外と楽しみが大きくなります。...その他、車や大型家財、レジャー、交際費なども見直してみましょう。膨らんでしまった生活費をダイエットするコツは、使えるワクを決めること。無理に背伸びした生活をした結果、自己破産なんてことにならないよう、しっかりライフプランを立ててみましょう。



STEP3... 予算を立てる

我が家に合った生活の枠を決めましょう！

手取り年収400万円の場合

始めに、見込み年収を設定。次に6種類の項目毎に予算額を決めます。それぞれの家庭の事情に応じて調整します。

見込み年収400万円(100%)

貯金	保険	生活	住居	その他	教育
10%	4%	40%	25%	15%	6%
40万円	16万円	160万円	100万円	60万円	24万円

生活	生活	生活	生活
24万円	16万円	60万円	60万円
2万円	1.3万円	5万円	5万円

月あたり

我が家の場合は

下の「割合表」を参考にしながら年収を100とする予算額を記入していきましょう。一定の枠を作ることが計画的な予算生活をスタートさせる第一歩に！

年収 万円(100%)

貯金	保険	生活	住居	その他	教育
%	%	%	%	%	%
万円	万円	万円	万円	万円	万円

生活	生活	生活	生活
万円	万円	万円	万円
万円	万円	万円	万円

月あたり

年収別の割合表(例)

世帯別の目安	貯金	保険	生活	住居	その他	教育
手取り年収 300万円	30万円	12万円	150万円	70万円	30万円	8万円
手取り年収 400万円	40万円	16万円	160万円	100万円	60万円	24万円
手取り年収 500万円	75万円	20万円	180万円	120万円	75万円	30万円
手取り年収 600万円	100万円	24万円	200万円	130万円	100万円	46万円

家計の目安

社会保険	10%
税金	10%
貯蓄	10%
保険	5%
住居	20%
生活	40%
教育	5%

増る可能性
増る可能性

将来、社会保険料・税金ともに増えることが予想されます。

しっかり予算を立てて将来に備える必要があります。

